

第3章

研修実施により 見えてきた課題



本研修は、国が開催する「平成26年度自立相談支援事業従事者養成研修（主任相談支援員養成研修）」の修了者を対象に、実施されたものである。

具体的には、主任相談支援員に求められる「社会資源開発と地域づくりを行う能力」「相談業務マネジメント能力」「高度な相談支援能力」を高めることを目的として、「地域」「組織」「個別」のレベルから、立体的に自らの実践の振り返りを行うための「評価シート」や、地域ネットワークづくりの「企画シート」を活用しながら、演習を中心としたプログラムを実施した。

まず、プログラム内容全般について、受講者側、講師側、企画運営者側からの評価をアンケートや演習中の発表内容等を踏まえて考察する。

◆ 1 プログラムの評価 ◆◆◆

(1) 受講者による評価

個別の相談支援現場を前提とした講義や演習において、現場レベルの情報交換を行う場面では高い満足度を確認できた一方で、「スーパーバイザーとしての視点」「実践の言語化」「実践の見える化」「身近な地域の課題分析」といった相談支援や社会資源開発に必要な特定のスキル発揮を意図したプログラムや事前準備を必要とする科目では、受講者の満足度に濃淡が出た。

また、研修内容のレベル設定に対する評価では、「スキルアップ研修としてレベル設定が物足りない」という意見があった一方で、「科目全般についてレベルが高い」という正反対の主旨を述べる意見も目立った。この評価の幅は、社会福祉士などの相談支援にかかわる基礎資格の取得状況や実務経験の有無等の背景要因によるところが大きいと思われる。

さらに、受講者個人の事情だけでなく、「所属する組織全体の理解が進まないために、主任相談支援員としての実践がままならない」「これまでスーパービジョンを受けた機会がほとんどない」などの意見から明らかのように、受講者が所属する組織の事情による悩みや戸惑いを抱えている声もあった。

なお、受講者からは、「最初は研修内容についていくのに不安であったが、後期のプログラムまで受けたことでこれからの実務に対する自信につながった」「実践の振り返りや気づきが多くあった」「研修で使用したツールを職場で活用したい」といった主旨の意見も多く見受けられている。このことは、2日間の前期のカリキュラムだけではなく、中間課題として設定された「自立相談支援機関の周知」を通じた地域への働きかけを具体的に実施した上で後期のプログラムに参加する、という「研修の一連の流れ」が重要であり、すべてのプログラムを受講して、はじめて「主任相談支援員に求められるスキル」の獲得につながる、という企画者側の意図が、一定程度伝わったとみてよいだろう。

(2) 講師による評価

受講者のレベルに即した研修目標設定については、どの科目も苦慮した。本研修が目指す主任相談支援員

としての役割期待をスキルアップしていく要素に加えて、国研修のフォローアップとしての内容も加味してのプログラム編成を意識した内容もあったことは否めない。

例えば、「地域ネットワークづくり」は一朝一夕にできるものではない。地域分析や地域ネットワークづくり、社会資源開発の必要性についての視点が求められる科目では、受講者にとって要求されるスキルが高くなるため、取り組みやすい統一化した演習テーマの設定、プログラム進行上の細かい時間設定、演習時の作業内容の細かな解説、説明を意識した。

これらの主な要因は、受講者の資格取得状況やソーシャルワーカーとしての実務経験の有無、また、制度の構造上、事業の実施規模や担当する地域の圏域設定にも大きく差があるなど、多様な背景を持つ受講者が参加することとなったことにある。そのため、本来求められているレベル設定の要素に加えて、受講者にとってのわかりやすさや基礎的な援助スキルの振り返り、確認の要素も加味することになり、レベル設定の焦点が拡散した面があった。

(3) 企画・運営者による評価

研修プログラムの企画にあたっては、主任相談支援員に求められている役割期待を念頭に置いて、研修内容を検討する必要がある。すなわち、直接的な相談支援能力向上だけではなく、「スーパーバイザーとしての役割を意識して実践するための視点」、個別支援だけにとどまらず「個別の課題を地域全体で支援のためのネットワーク構築を可能とする考え方」を講義や演習で振り返るようにプログラム全体の流れを意識した。結果は、前述した受講者からの評価にもあるように、おおむね高い評価を得ることが出来た。ただ、多様な背景を持つ参加者に配慮したプログラム展開をせざるを得ない場面もあった。

モデル事業段階という背景もあるが、受講者が所属している組織内で生活困窮者支援に関する事業の位置づけが定まっていないなどの組織的な事情が、研修プログラムの中でよく聞かれた。

そのためか、今回の研修目的である主任相談支援員に求められる役割期待である「社会資源開発と地域づくりを行う能力」「相談業務マネジメント能力」「高度な相談支援能力」をスキルアップさせることを受講者個人の努力だけに求めきれない要素も、「評価シート」の演習などのセッションを通してみてとれた。研修全体では、スーパービジョンについて直接的に扱う科目だけではなく、多くの演習中にスーパーバイザーとしての役割期待を意識したプログラムを設定した。

結果として、受講者の中に「最初はバイザーという言葉がイメージできずに戸惑ったが、演習を通して繰り返すうちに役割の中身が自分なりにわかってきたように思う」という肯定的な声があった一方で、研修全体を通して、現状では主任相談支援員自身がスーパービジョン技術習得以前の基本的な問題として、「自らの実践を振り返る機会や時間的余裕がほとんどない」という実情も浮き彫りになった。

このことは、今回の研修だけに限らないソーシャルワーク実践全体の大きな課題でもあるため、今後も引き続き様々な角度から検討されていくべきことといえる。

次に、研修の実施により見えてきた全般的な課題について、①企画・運営、②研修プログラム、の各側面から考察することとしたい。

◆ 2 研修実施により見えてきた課題 ◆◆◆

(1) 研修の企画・運営について

今回は、本会が2014年5月に研究委員会を立ち上げ、国研修が実施されている時期と同時並行で、国研修に参加した主任相談支援員のスキルアップを目的に本研修を企画し、実施していった。国が示した『自立相談支援事業 従事者養成研修テキスト』の出版は2014年7月、国の主任相談支援員養成研修の実施は2014年7月15日～17日（前期）、2014年8月25日～27日（後期）であり、この時期より、少しずつ、自立相談支援事業に従事する相談員に求められる理念や基本姿勢、実際に取り組むべき内容などが明らかになっていった。このため、国の示す考え方や、国研修の内容と連動させるかたちで本研修を企画・実施するには、時間の制約があったことは否定できない。

また、日程の都合上、年度の下半期に設定せざるを得ない状況があったため、特に後期研修でのキャンセル者が多く、受講者82名中25名（約4割）がキャンセルという結果となった。キャンセルの理由としてあがってきたのは「制度の本格施行直前の準備ため」「業務多忙のため」等のほか、「中間課題が提出できないため（テーマ：自立相談支援機関の周知）」というものもあった。

制度の本格実施にむけて、モデル事業の軸を支える主任相談支援員が、職場を離れて研修プログラムに参加することは、簡単なことではない。しかし、主任相談支援員には、「スーパーバイズや人材育成等を含んだ相談業務全般のマネジメント能力」「高度な相談支援能力」「地域課題を把握し、新たな社会資源を開拓したり、開発する能力」等という、極めて高い能力が「役割」として期待されている。これらの役割を適切に果たせるように、主任相談支援員のスキルアップを目指すためには、前期、後期2日間のプログラム、「事前課題」「中間課題」への取り組み期間も含め、少なくとも、今回の日程以上の時間確保は必要となるだろう。この点については、今回の研修の終了時に、受講者から「事前課題の作成からはじまる「一連の研修の流れ」を受講することにより、研修のねらいが理解でき、自らの実践についての気づきが得られた」という趣旨の意見が複数でてきていたことから明らかである。

(2) 研修プログラムについて

今回の研修プログラムは、これまで日本社会福祉士会として開発してきた研修ツールである「企画シート」「評価シート」を、生活困窮者自立相談支援事業の実践現場で応用できるかたちで見直し、活用した。ツールの開発（見直し）にあたっては、実際にモデル事業に取り組む5カ所の自立相談支援機関に依頼し、プレテストを実施しながら、より使いやすいものに精度を高めた。

また、演習の場面では、ファシリテーターを各グループに1名配置し、演習が円滑に進むような工夫を行った。ファシリテーターについては、事前に「ファシリテーター説明会」を開催し、国研修の動向、演習を効果的に進めるためのレクチャーを行った。特に、実際の演習場面においては、講師をサポートする役割を担うファシリテーターの存在は重要となる。なぜなら、主任相談支援員としてのスキルアップを意図とし、受講して得た知見を実践現場での活用してもらうための今回のような研修において、受講者が設定された課題に主体的に取り組む演習プログラムは欠かせず、演習進行の度合、グループ間の協議の深まりを確認し、受講環境の整備を側面的にサポートすることが求められるからである。

今回の研修参加者の経験年数、資格取得などは、幅があった。主任相談支援員が所属する組織体制や、職員の経歴や資格が異なることは、自立相談支援事業の職場特性でもあり、参加者の状況も、その特性を反映

していたといえる。

ただ、一方で、生活困窮者支援の事業の理念である「困窮者支援を通じた地域づくり」の実現には、支援のための他職種連携という視点が不可欠であり、それらを具現化する手段である「実践の言語化」「実践の見える化」というスキルを一層の向上を目指す内容にしていく必要がある。多様な背景、現場経験を持つ受講者に対応していくために、今回は、研修プログラムを吟味しながら、プログラムの展開方法などについて、どのような配慮が必要かを念頭に置きながら進めていくこととなった。

全体を通じて、本会が職能団体として持っている人材育成、資質向上のためのノウハウを最大限生かすべく、努力を重ねた取り組みであったと振り返る。今年度実施できた研修における学び、気づきを大切にしながら、今後も生活困窮者支援という、分野横断的にネットワークを構築し、多様な体制で実施される新たな領域で、高度な専門性を持つ人材を養成することに貢献できるよう、研究、研鑽を重ねていきたい。

主任相談支援員 スキルアップ研修

前 期

アンケート結果

[東京会場]

- 開催日：2014年11月19日（水）～20日（木）
- 会場：KFCホール（3階）アネックス
- 受講者数：44名
- 回答者数：44名

[大阪会場]

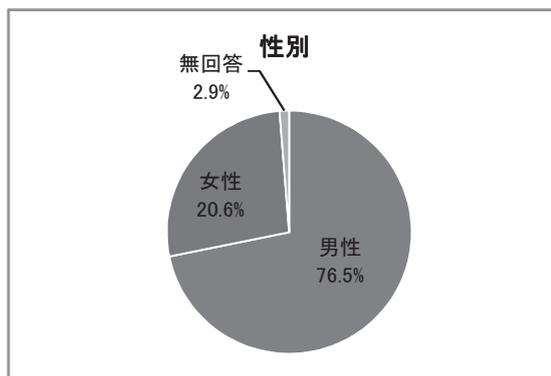
- 開催日：2014年12月10日（水）～11日（木）
- 会場：天満研修センター 205教室
- 受講者数：38名
- 回答者数：34名

主任相談支援員 現任研修プログラム研究委員会

「主任相談支援員 スキルアップ研修」前期アンケート
アンケート集計結果

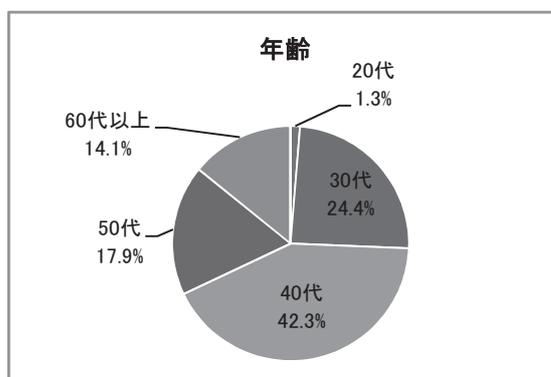
Q1 性別

	回答数	構成比
(1) 男性	56	71.8%
(2) 女性	21	26.9%
無回答	1	1.3%
計	78	100.0%



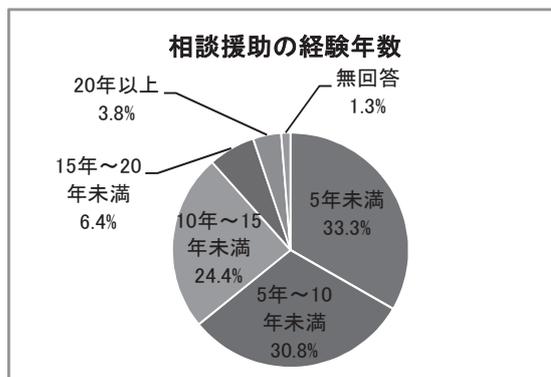
Q2 年齢

	回答数	構成比
(1) 20代	1	1.3%
(2) 30代	19	24.4%
(3) 40代	33	42.3%
(4) 50代	14	17.9%
(5) 60代以上	11	14.1%
無回答	0	0.0%
計	78	100.0%



Q3 相談援助の経験年数

	回答数	構成比
(1) 5年未満	26	33.3%
(2) 5年～10年未満	24	30.8%
(3) 10年～15年未満	19	24.4%
(4) 15年～20年未満	5	6.4%
(5) 20年以上	3	3.8%
無回答	1	1.3%
計	78	100.0%



「主任相談支援員 スキルアップ研修」前期アンケート
アンケート集計結果

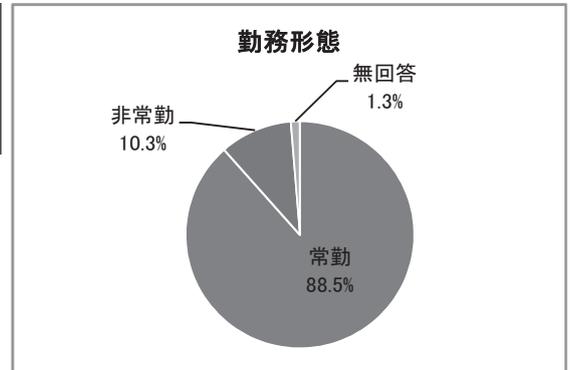
Q4 所有資格等

	回答数	構成比
(1) 社会福祉士	32	25.2%
(2) 精神保健福祉士	9	7.1%
(3) 社会福祉主事	39	30.7%
(4) 保健師／看護師	1	0.8%
(5) 臨床心理士	1	0.8%
(6) 介護支援専門員	19	15.0%
(7) 介護福祉士	3	2.4%
(8) ファイナンシャルプランナー	3	2.4%
(9) キャリアカウンセラー	3	2.4%
(10) その他	5	3.9%
(11) 資格なし	9	7.1%
無回答	3	2.4%
計	127	100.0%



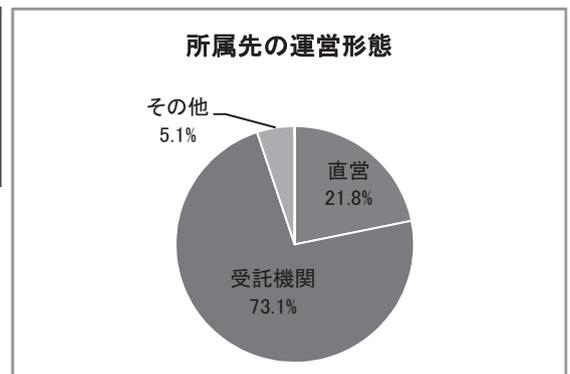
Q5 勤務形態

	回答数	構成比
(1) 常勤	69	88.5%
(2) 非常勤	8	10.3%
無回答	1	1.3%
計	78	100.0%



Q6 所属先の運営形態

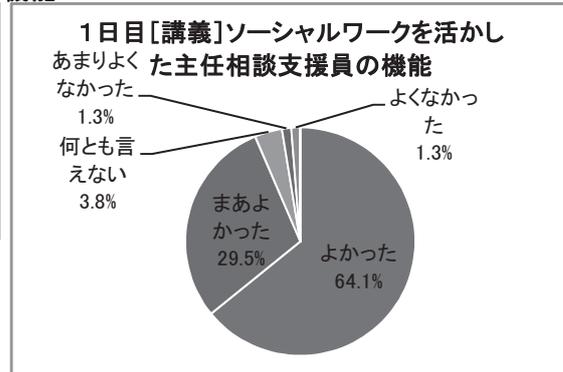
	回答数	構成比
(1) 直営	17	21.8%
(2) 受託機関	57	73.1%
(3) その他	4	5.1%
無回答	0	0.0%
計	78	100.0%



「主任相談支援員 スキルアップ研修」前期アンケート
アンケート集計結果

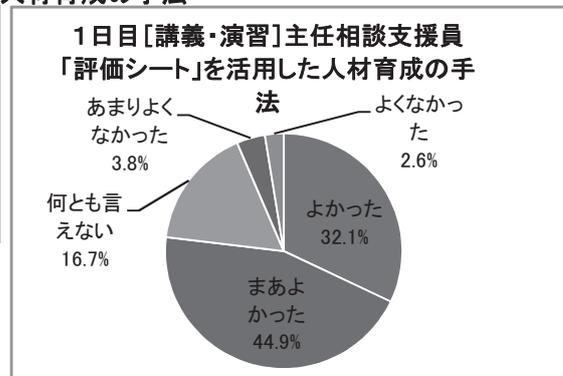
Q7 1日目【講義】ソーシャルワークを活かした主任相談支援員の機能

	回答数	構成比
(5) よかった	50	64.1%
(4) まあよかった	23	29.5%
(3) 何とも言えない	3	3.8%
(2) あまりよくなかった	1	1.3%
(1) よくなかった	1	1.3%
無回答	0	0.0%
計	78	100.0%



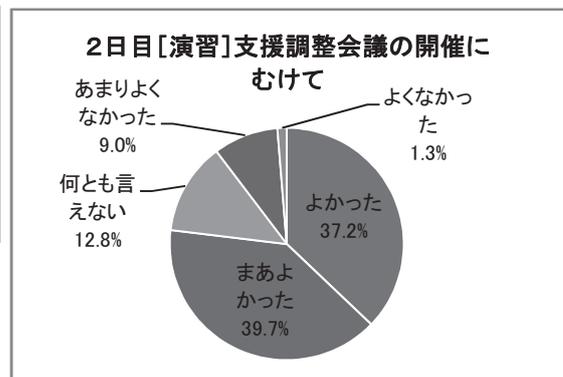
Q7 1日目【講義・演習】主任相談支援員「評価シート」を活用した人材育成の手法

	回答数	構成比
(5) よかった	25	32.1%
(4) まあよかった	35	44.9%
(3) 何とも言えない	13	16.7%
(2) あまりよくなかった	3	3.8%
(1) よくなかった	2	2.6%
無回答	0	0.0%
計	78	100.0%



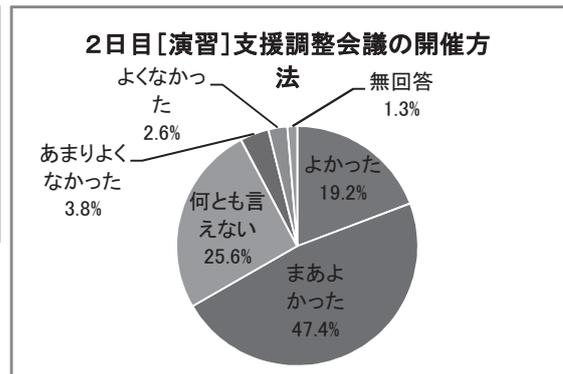
Q7 2日目【演習】支援調整会議の開催にむけて

	回答数	構成比
(5) よかった	29	37.2%
(4) まあよかった	31	39.7%
(3) 何とも言えない	10	12.8%
(2) あまりよくなかった	7	9.0%
(1) よくなかった	1	1.3%
無回答	0	0.0%
計	78	100.0%



Q7 2日目【演習】支援調整会議の開催方法

	回答数	構成比
(5) よかった	15	19.2%
(4) まあよかった	37	47.4%
(3) 何とも言えない	20	25.6%
(2) あまりよくなかった	3	3.8%
(1) よくなかった	2	2.6%
無回答	1	1.3%
計	78	100.0%



主任相談支援員 スキルアップ研修

後 期

アンケート結果

[東京会場]

- 開催日：2015年2月11日（水）～12日（木）
- 会場：KFC Rooms（10階）101～102
- 受講者数：31名
- 回答者数：28名

[大阪会場]

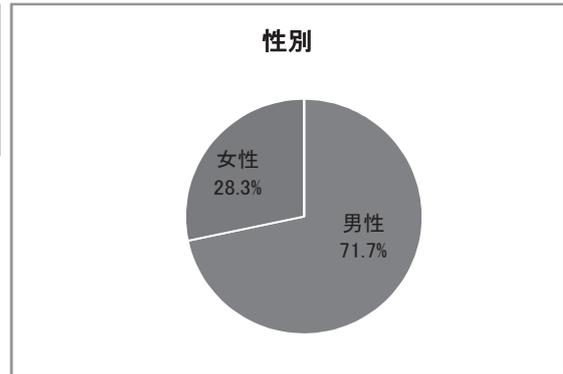
- 開催日：2015年3月4日（水）～5日（木）
- 会場：天満研修センター 205教室
- 受講者数：26名
- 回答者数：25名

主任相談支援員 現任研修プログラム研究委員会

「主任相談支援員 スキルアップ研修」後期アンケート
アンケート集計結果

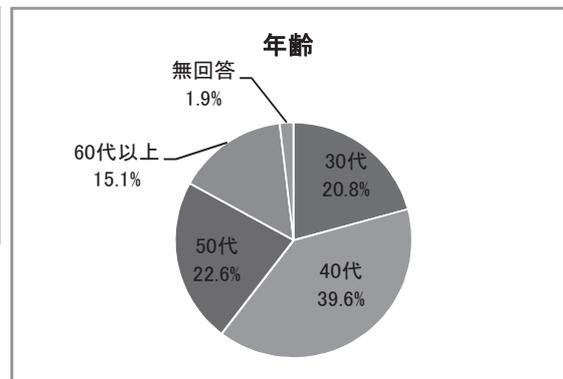
Q1 性別

	回答数	構成比
(1) 男性	38	71.7%
(2) 女性	15	28.3%
無回答	0	0.0%
計	53	100.0%



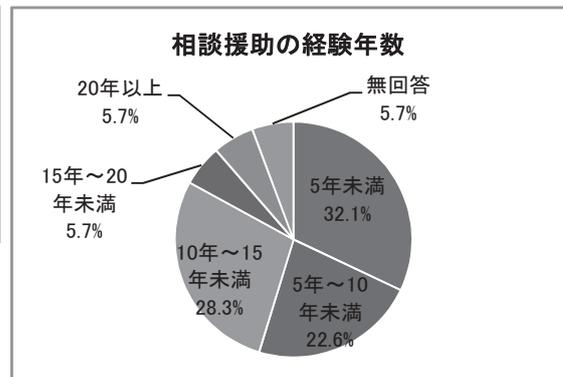
Q2 年齢

	回答数	構成比
(1) 20代	0	0.0%
(2) 30代	11	20.8%
(3) 40代	21	39.6%
(4) 50代	12	22.6%
(5) 60代以上	8	15.1%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%



Q3 相談援助の経験年数

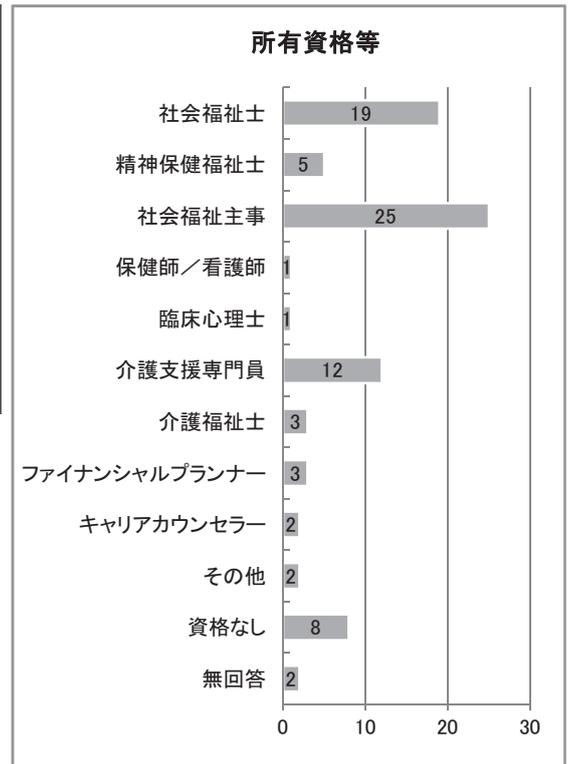
	回答数	構成比
(1) 5年未満	17	32.1%
(2) 5年～10年未満	12	22.6%
(3) 10年～15年未満	15	28.3%
(4) 15年～20年未満	3	5.7%
(5) 20年以上	3	5.7%
無回答	3	5.7%
計	53	100.0%



「主任相談支援員 スキルアップ研修」後期アンケート
アンケート集計結果

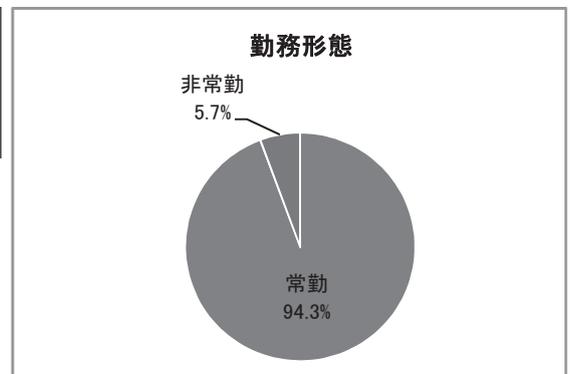
Q4 所有資格等

	回答数	構成比
(1) 社会福祉士	19	22.9%
(2) 精神保健福祉士	5	6.0%
(3) 社会福祉主事	25	30.1%
(4) 保健師／看護師	1	1.2%
(5) 臨床心理士	1	1.2%
(6) 介護支援専門員	12	14.5%
(7) 介護福祉士	3	3.6%
(8) ファイナンシャルプランナー	3	3.6%
(9) キャリアカウンセラー	2	2.4%
(10) その他	2	2.4%
(11) 資格なし	8	9.6%
無回答	2	2.4%
計	83	100.0%



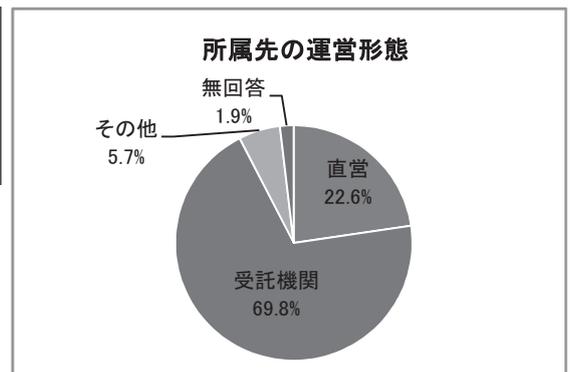
Q5 勤務形態

	回答数	構成比
(1) 常勤	50	94.3%
(2) 非常勤	3	5.7%
無回答	0	0.0%
計	53	100.0%



Q6 所属先の運営形態

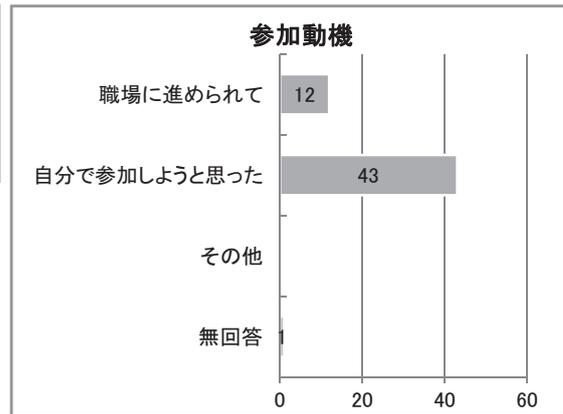
	回答数	構成比
(1) 直営	12	22.6%
(2) 受託機関	37	69.8%
(3) その他	3	5.7%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%



「主任相談支援員 スキルアップ研修」後期アンケート
アンケート集計結果

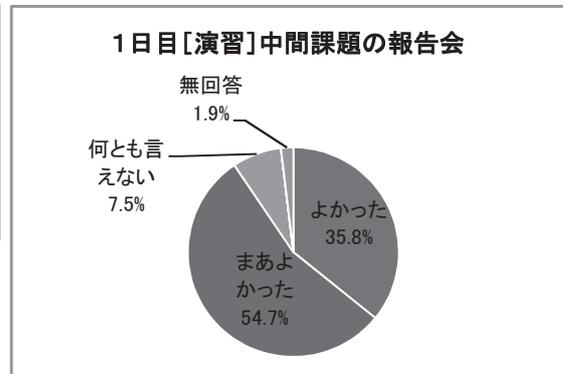
Q7 参加動機

	回答数	構成比
(1) 職場に進められて	12	21.4%
(2) 自分で参加しようと思った	43	76.8%
(3) その他	0	0.0%
無回答	1	1.8%
計	56	100.0%



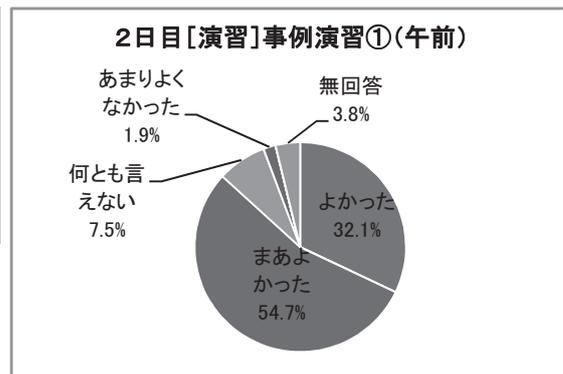
Q8 今回のプログラム内容はいかがでしたか。
1日目[演習]中間課題の報告会

	回答数	構成比
(5) よかった	19	35.8%
(4) まあよかった	29	54.7%
(3) 何とも言えない	4	7.5%
(2) あまりよくなかった	0	0.0%
(1) よくなかった	0	0.0%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%



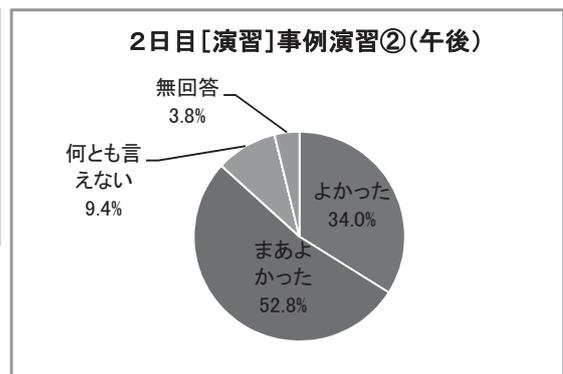
2日目[演習]事例演習①(午前)

	回答数	構成比
(5) よかった	17	32.1%
(4) まあよかった	29	54.7%
(3) 何とも言えない	4	7.5%
(2) あまりよくなかった	1	1.9%
(1) よくなかった	0	0.0%
無回答	2	3.8%
計	53	100.0%



2日目[演習]事例演習②(午後)

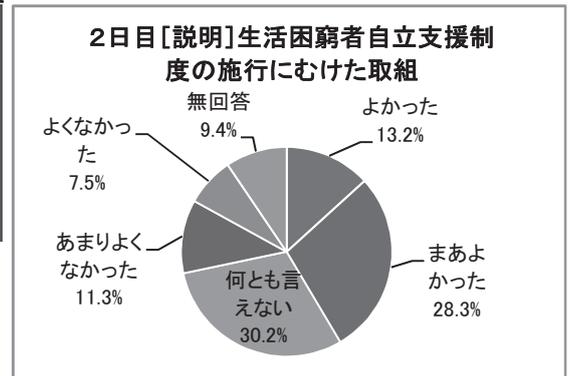
	回答数	構成比
(5) よかった	18	34.0%
(4) まあよかった	28	52.8%
(3) 何とも言えない	5	9.4%
(2) あまりよくなかった	0	0.0%
(1) よくなかった	0	0.0%
無回答	2	3.8%
計	53	100.0%



「主任相談支援員 スキルアップ研修」後期アンケート
アンケート集計結果

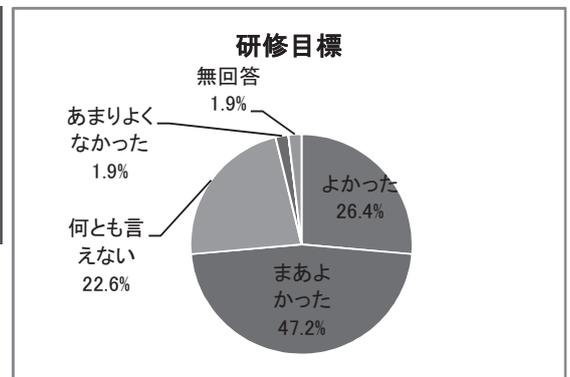
2日目[説明]生活困窮者自立支援制度の施行にむけた取組

	回答数	構成比
(5) よかった	7	13.2%
(4) まあよかった	15	28.3%
(3) 何とも言えない	16	30.2%
(2) あまりよくなかった	6	11.3%
(1) よくなかった	4	7.5%
無回答	5	9.4%
計	53	100.0%



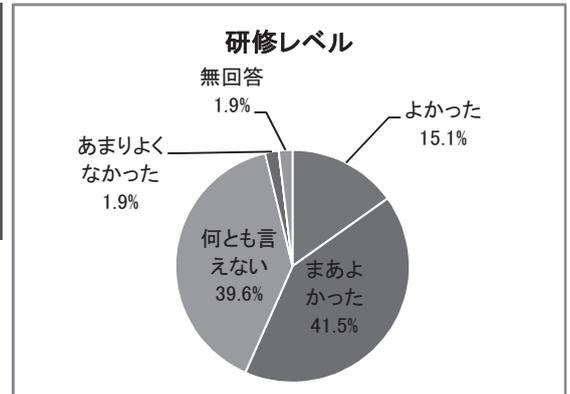
Q9 プログラム(全体)を通して、以下の観点からみていかがでしたか。
研修目標

	回答数	構成比
(5) よかった	14	26.4%
(4) まあよかった	25	47.2%
(3) 何とも言えない	12	22.6%
(2) あまりよくなかった	1	1.9%
(1) よくなかった	0	0.0%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%



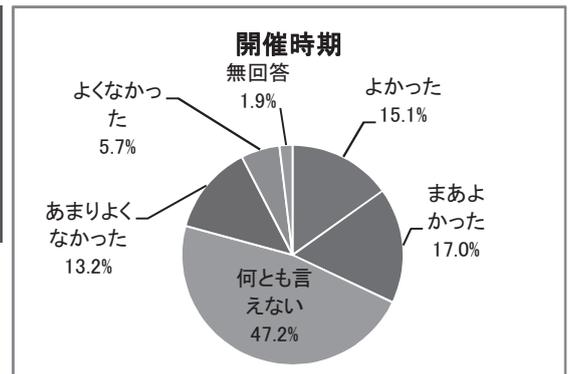
研修レベル

	回答数	構成比
(5) よかった	8	15.1%
(4) まあよかった	22	41.5%
(3) 何とも言えない	21	39.6%
(2) あまりよくなかった	1	1.9%
(1) よくなかった	0	0.0%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%



開催時期

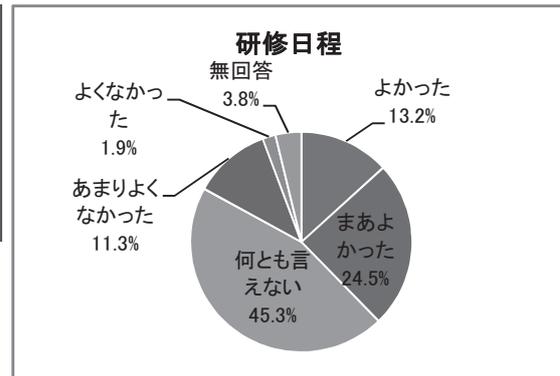
	回答数	構成比
(5) よかった	8	15.1%
(4) まあよかった	9	17.0%
(3) 何とも言えない	25	47.2%
(2) あまりよくなかった	7	13.2%
(1) よくなかった	3	5.7%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%



「主任相談支援員 スキルアップ研修」後期」アンケート
アンケート集計結果

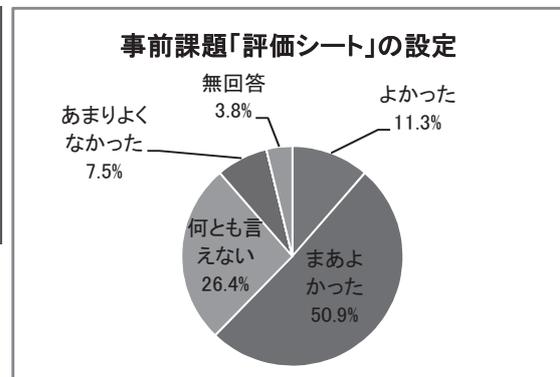
研修日程

	回答数	構成比
(5) よかった	7	13.2%
(4) まあよかった	13	24.5%
(3) 何とも言えない	24	45.3%
(2) あまりよくなかった	6	11.3%
(1) よくなかった	1	1.9%
無回答	2	3.8%
計	53	100.0%



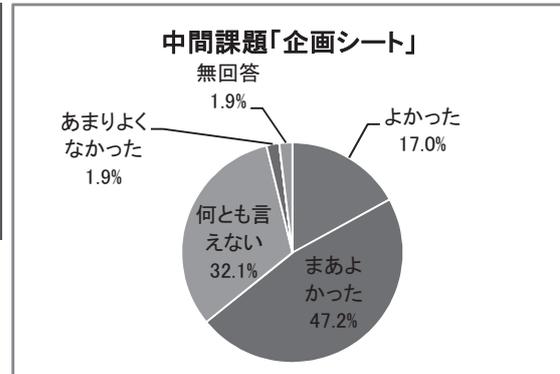
事前課題「評価シート」の設定

	回答数	構成比
(5) よかった	6	11.3%
(4) まあよかった	27	50.9%
(3) 何とも言えない	14	26.4%
(2) あまりよくなかった	4	7.5%
(1) よくなかった	0	0.0%
無回答	2	3.8%
計	53	100.0%



中間課題「企画シート」

	回答数	構成比
(5) よかった	9	17.0%
(4) まあよかった	25	47.2%
(3) 何とも言えない	17	32.1%
(2) あまりよくなかった	1	1.9%
(1) よくなかった	0	0.0%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%



研修の開催場所

	回答数	構成比
(5) よかった	12	22.6%
(4) まあよかった	26	49.1%
(3) 何とも言えない	12	22.6%
(2) あまりよくなかった	2	3.8%
(1) よくなかった	0	0.0%
無回答	1	1.9%
計	53	100.0%

